

# まきは

## 「このことが起こるとき」

「エゼキエルは、あなたがたのためにしるしとなる。すべて彼が行ったように、あなたがたも行う。このことが起こるとき、あなたがたは私が神、主であることを知るようになる。」

(エゼキエル書 第24章24節・旧約聖書1316頁)

はじめに

エゼキエルが預言者として召され、預言活動を開始したのは、強制移住させられていたバビロンのケバル川でした。現在のイラク、チグリス川に近い場所と推定されます。臨在の場エルサレムから800kmも離れた場所でも、神は、孤独と迫害に耐え、試練の日々を過ごしていた民たちを憐れみ、希望の言葉をかけられるのです。それは私たちへの励ましの言葉でもあります。遠く離れてはおられない

パウロは、アテネで「探し求めさえすれば、神を見いだすことができる…。実際、神は私たち一人一人から遠く離れてはおられません。」(使徒17:27)と語りました。実は、ギリシアの人たちだけでなく、ユダヤ人たちも場所にこだわっていました。臨在の場、そして神の言葉が語られるのもエルサレムだと思い込んでいたのです。ステファノが殉教したのは、「神の栄光、神の言葉は外国の地においてももたらされる」と語ったからです。「メソポタミアで、エジプトで、そしてバビロンで神は語られた。神の言葉はどこに臨む」。それを批判的に聞いていたパウロが、ステファノと同じことを言っています。神のなされることは不思議です。このように、私たちがどのような、どん底のような状況に陥っていても、おいても、神の言葉を受けようとする者に、神の命の言葉を語られるのです。自分の足で立つ

エゼキエルは、「神に反逆し、強情な者たちにあなたを遣わす。彼らはあなたの言葉を拒む

だろう。しかしあなたは語らなければならない」と言われています。しかし、エゼキエルはその任命に「自分の足で立」って応じたのでした。反逆の民に

遣わされるとき、エゼキエルは「巻物」を食べています。蜜のように甘かった、マナを連想させるような神の養いでした。そして「ダイヤモンドのように硬い」(3:9)彼らに向き合ったのです。私たちも同様に、この巻物を食べる必要があります。そうでなければ、目の前の難問に立ち向かうことはできないでしょう。

逆境の中、民たちは頑固なまま、第9年、場ピロンによってエルサレムが崩壊する時が始まりました。またエゼキエルには妻の死という悲劇が起こります。さすがに神から完全に見捨てられたと思う場面に、神はエゼキエルに語るのです。「この痛みが証しとなっていく」。何もなければ平安が与えられると思うのですが、何もなかったことなどありません。何かがあり、そしてあり続ける、その中で私たちは生きていくのです。痛みによって「この神が私の神であり、主を知る」。「彼らは苦しみゆえの激しい試練を受けていたのに、喜びに満ち溢れ、極度の貧しさにもかかわらず、溢れるばかりに豊かな真心を示したのです。」(コリント二8:2)とパウロはマケドニアの信徒の証しをしています。神の恵みに満たされるために、私たちは御言葉を食べて臨むべきなのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「エゼキエルは、あなたがたのためにしるしとなる。すべて彼が行ったように、あなたがたも行う。

このことが起こるとき、あなたがたは私が神、主であることを知るようになる。」(エゼキエル書 24:24)

「きょうだいたち、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせましょう。彼らは苦しみゆえの激しい試練を受けていたのに、喜びに満ち溢れ、極度の貧しさにもかかわらず、溢れるばかりに豊かな真心を示したのです。」(コリントの信徒への手紙二 8:1～2)



エゼキエルは自分の故郷から遠く離れた場所に住まわせられ、その逆境の中、エルサレムの崩壊が始まっていることを聞き、さらには自分の妻が死ぬという試練に遭いました。だれもが見捨てられたと思えるようなとき、彼を支えたのは「食べた巻物」でした。私は日々与えられる御言葉を心に食べるようにして蓄えます。どうか、苦境の時、試練と思えるような状況で、マケドニアの信徒のように喜びに満ち溢れることができますように。主イエスさまをお願いします。御名によってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (43) 第3章2節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「あなたには長寿と命の歳月が与えられ 平和が増し加わる。」

◎口語訳 「そうすれば、これはあなたの日を長くし、命の年を延べ、あなたに平安を増し加える。」

◎新改訳 「そうすれば、あなたに長い日と、いのちの年と平安が増し加えられる。」

### 「長寿」

父は、子に対し「シエマー」、つまり神の言葉を聞き、それを受け入れ、そして保持し続けることを心に刻みこもうとしています。なぜならば、そのことで長寿と平和がもたらされるからです。

「長寿」は口語訳で「日を長く」と訳されています。「命の歳月」も同じような意味として受け取ることができそうなのですが、少し意味合いが違います。

ここで訳されている「長寿」については、口語訳の「日が高い」のほうが正確だと思います。というのも、ここで遣われている語は純粹に「長さ」をあらわしているからです。例えば、何かを計測したときに「長さは〇〇アンマ」の「長さ」、「歩き回る」と距離の長さを表すために訳されている箇所も見受けられます(創世記 13:17)。日が高いのですから、結果的に長寿としたわけですから。

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1～33)
  - d レムエルの言葉 (31:1～31)

今、日本では90歳以上の方が200万人近くおられるそうです。ただし、健康な方は1割程度なのだそうです。長「寿」ですから、喜ばしいことではありますが、その状態によるかも知れません。だからこそ、「命」なのです。

「神である主は、土の塵で人を形づくり、その鼻に命の息を吹き込まれた。人はこうして生きる者となった」(創世記 2:7)。ここにある「命」そして「生きる」者に使われている語がこの「命」です。神が生かしてくださることの幸いを私たちは得ることができる、それが一番の幸いです。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

出エジプト記第12章13節「あなたがたがいる家の血は、あなたがたのしるしとなる。私はその血を見て、あなたがたのいる所を過ぎ越す。」◆過越祭の起源となった「その日」である。「イエスに命じられて過越の食事を準備し」(マタイ26:19)、最後の晩餐を受けた弟子たちは、その直後、十字架で肉をさかれ、血を流された主イエスを見る。イエスを見て「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」と言ったバプテスマのヨハネは、こうした預言がイエスによって成就することを知っていたのである。私たちが罪の奴隷から解放するのは、主イエスの血潮しかない。

### ●賛美 / 324 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

出エジプト記第13章3節「主は力強い手によって、あなたがたをここから導き出されたからである。」◆民たちが、神の約束の地に住むためにエジプトから脱出するのは至難のわざであった。荒れ野で旅を続ける困難から、エジプトの地に思いを寄せる者もでてきた。だがエジプトにおいては「奴隷」のままである。主は、その強い手を持って導き出し、抱え、運び、また「夜通し見張りをされ」てまでも(12:42)、彼らを奴隷の状態から救い出したかったのだ。神の熱心がここにある。神の愛がここにある。救われた者たちは主の栄光を拝することになる。

### ●賛美 / 325 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

出エジプト記第14章15節「なぜ私に向かって叫ぶのか。イスラエルの人々に出発するように告げなさい。」◆民たちが脱出したのもつかの間、心変わりをして追ってきたエジプトの精鋭軍の存在に気づく。前は紅海、後はエジプト軍。この状況に人々はモーセに「ここで死なせるために連れてきたんだろう」と迫る。まさに八方ふさがりだ。だが、八方が十六方ふさがっていいようが、神を信じる者には「上」があいている。神を仰ぎ見たモーセは、「黙って神のなされることを見ていなさい」と語った。そして神は海に向かって「進め」とお命じになったのだ。

### ●賛美 / 326 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

出エジプト記第15章22節「一行は荒れ野を三日間進んだが、飲み水が見つからなかった。」◆紅海を歩いて渡ったイスラエルは驚くべき神の救いを経験した。心から喜び踊っている姿が見えてくる。ところが、ところがである。その後三日にして、彼らは神につぶやき始めたのだ。だが、モーセに詰め寄った彼らの信仰の軽薄さを私たちは笑うことができるだろうか。奇跡を行う主イエスは、そのたびごとに弟子たちに「まだ悟らないのか」と迫られている。神の恵みに何度あずかっても、忘れてしまう、また悟らない愚かさを覚え、へりくだって歩もうではないか。

●賛美／327 ●祈禱課題  
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。  
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

出エジプト記第16章29節「見よ、主はあなたがたに安息日をお与えになった。それで六日目に、主は二日分のパンをあなたがたにお与えになる。」◆途方もなく広大で荒涼としたシンの荒れ野に来たとき、彼らはすぐに食の不自由さに気づいた。「どうやって食べて行くんだ」とまたしてもつぶやき始めたイスラエルの民に、神はうずらとマナを降させた。安息日のためには、二日分が与えられた。これは神が私たちの都合をもご存じて、備えられたということである。私たちは神の真実さに目を留めるべきである。

●賛美／329 ●祈禱課題  
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるよう。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。  
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。  
◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

出エジプト記第17章11節「モーセが手を上げているとイスラエルが強くなり、手を下げているとアマレクが強くなった。」◆レフィデムで山賊、アマレク人の襲撃にあった。これまでエジプトにいて、戦争を経験せず、また奴隷であるがゆえに武器も持たないイスラエルは、襲われた時点で勝ち目はなかった。この危機にモーセは「手を上げた」。これは神に祈る姿である。祈らずにはおれない状態を知る者が、祈るべきお方を知って祈る。その時、私たちは弱くとも、勝利はもたらされるのだ。御名に頼り、祈る者を神はないがしろにされない。

●賛美／330 ●祈禱課題  
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。  
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

出エジプト記第18章19節「あなたが民のために神の前に出て、彼らの問題を神に述べなさい。」◆モーセの義父となるエトロが訪ねてきた。その時、モーセが一日中民たちの相談を受けていたのを見て、「こんなことしていたら死んでしまう。ちゃんと組織を作って対処しなさい」とアドバイスした。市役所に市長一人だけしかおらず、すべての業務をしていたようなものだ。ひとりが何もかもできるはずがない。モーセにとっては「神の前にいる」ことが大事であった。使徒たちも雑務を執事に任せ、「御言葉と祈りに専念した」のである。」

●賛美／331 ●祈禱課題  
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。  
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ 15:21~28】

「カナンの女の人」

(マタイ 15:28)

イエスさまは、ティルス、シドンとよばれている ちほうに きました。そこは、ほんとうのかみさまではなく、にんげんが つくった、にせものの かみさまを ねっしんに おがんでいる ばしよでも ありました。

イエスさまが あるいていると ひとりの おんなのひとが ちかづいてきました。そして「わたしを あわれんでください。むすめが びょうきなのです」とうったえたのです。

そのとき、イエスさまは なんと いったでしょう。「わたしは ほんとうの かみさまを しんじている ひとのところにしか いかない」。イエスさまは どんなひとも きべつしないで かみさまの わざを おこなってくださる おかたです。イエスさまが おっしゃったことばは なにか いじわるような きがします。

でも、そうではありません。そのひとに しんこうがなければ、かみさまの めぐみを しっかりと うけとることができないので、「あなたは ちゃんと ほんとうの かみさまに たいする しんこうを もっていますか」と たずねられたのです。

その おんなのひとは「わたしは しょくたくから こぼれた パンくずを いただく こいぬのような ものです」と、かみさまの まえに、へりくだった、たいどを あらわしたのでした。

イエスさまは それをみて、「あなたのしんこうは とても リっぱです」とおほめなになり、そのおんなのひとの むすめを なおしてあげました。

わたしたちは、あたりまえのように かみさまの めぐみを いただいて いないでしょうか。この おんなの ひとのように「わたしは こいぬのような ものです。」と、かみさまにたいして、へりくだり、かみさまの めぐみを うけるもので ありたいですね。イエスさまは そのような ひとを みいだそうとされています。

## ●かんがえてみよう

☆イエスさまは にせものの かみさまを おがんでいるひとが おおい まちに きました。なんと いうまちですか。(マタイ15:21)

☆おんなのひとが なおしてほしいと いったとき、イエスさまは なんと いわれましたか。(マタイ15:24)

☆おんなのひとは なんと いった イエスさまに おねがいましたか。(マタイ15:27)



# なむむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

むすめはいやされた

		れ	は		す	め		む
や	す	む		い	め			さ
は	さ			や			す	い
		い	さ	れ	た	す		
す		さ		め		れ		や
れ	た			す			さ	め
む	め						や	い
い		す	や	む	れ	さ		
さ	れ	や	め			む	は	す

## ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① しわうなじつれたひ
- ② ちずるぱんおく
- ③ なんかなんのお
- ④ こうほのち

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「キラキラネーム」

私の書道教室にも、いわゆるキラキラネームの子どもが増えてきました。今までに一番驚いた名前は「桜桃」、さくらんぼですね。ところが、これを「ちえり」と読ませるんです。つまり、チェリーです。まあ、こんな具合で、入会する子どもたちの名前を聞いては、時々、「へー」とか、びっくりしています。

このキラキラネームはかなり多くなっているようで、今回、法務省は、漢字の意味と正反対の読みなどの場合を除いて、できるだけ容認するようにと、

全国の自治体に通知することを決定しました。3月からはほとんどがOKになるようです。NGなのは、(1) 漢字の意味や読み方との関連性が認められない (2) 子どもの利益に反し社会通念上相当ではないなどがあり、法務省が示した例として、「太郎」を「ジョージ」、「高」を「ひくし」、「健」を「けんさま」、がありました。きっと、今までに窓口に届けに来た親がいたんでしょう。

「王子様 (おうじさま)」とつけられてしまい、改名を申し立て、先月、家裁に認められた18歳の青年がいました。偽名と疑われ、自己紹介すれば噴き出されて、みじめな思いをしてきたと言います。子どもはおもちゃじゃないですよ。

真(まなと)くんの祝福を祈ります。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●パトモス島

ペトロの次はヨハネでいきましょう。ヨハネの黙示録に出てくる7つの教会を巡ることにします。その前に、「イエスの苦難と御国と忍耐とにあずかっているヨハネ」が「神の言葉とイエスの証しのゆえに」(黙示 1:9) 滞在していたパトモス島に触れておくことにします。

滞在していたと記しましたが、引用したように、迫害されて島流しにされた地でした。

日本で「島流し」と言えば、佐渡、隠岐、壹岐対馬、八丈島、そして西郷さんが流された徳之島などが思い浮かびます。いずれも離島であるが故に風光明媚な観光地になっています。

実は現在のパトモス島も同様で、ギリシャのエーゲ海に浮かぶ小さな島で、日本では北海道の礼文島が最も近い大きさになります。本土との距離は隠岐の島と同じくらいなのですが、大きさは隠岐の本島である島後島(243km<sup>2</sup>)の約7分の1(35km<sup>2</sup>)に過ぎません。当時はずいぶんとへんぴな所だったでしょうが、険しい地形と美しい海岸線を持つ静かなリゾートアイランドになっています。

ヨハネはこの島で、驚くべき幻を見せられました。恐らく、この静かな島にいたからこそ、見る事ができたのではないかと思います。

## ななめ聖書 先週のこたえ

を	め	ん	る	あ	れ	ば	き	つ
ば	あ	き	め	つ	ん	を	る	れ
つ	れ	る	を	ば	き	あ	め	ん
る	つ	を	ば	れ	め	き	ん	あ
れ	ば	あ	ん	き	を	め	つ	る
き	ん	め	あ	る	つ	れ	を	ば
め	る	ば	き	ん	あ	つ	れ	を
ん	を	れ	つ	め	ば	る	あ	き
あ	き	つ	れ	を	る	ん	ば	め

- ①すこしずつたべる
- ②すわらせなさい
- ③すぎこしさい
- ④さかなにひき



## コリントへ

その後、パウロはアテネを去ってコリントへ行った。

ここで、ポントス州出身のアキラと言うユダヤ人とその妻プリスキラに出会った。クラウディウス帝が、全ユダヤ人をローマから退去させるようにと命令したので、最近イタリアから来たのである。パウロはこの二人を訪ね、自分も同業者であったので、彼らの家に住み込んで、一緒に仕事をした。その職業はテント造りであった。

パウロは安息日ごとに会堂で論じ、ユダヤ人やギリシア人の説得に努めていた。

シラスとテモテがマケドニア州からやって来ると、パウロは御言葉を語ることに専念し、ユダヤ人に対して、メシアはイエスであると力強く証した。

(使徒言行録18:1~5)



アテネからコリントへ

## 【アテネの滞在期間】

パウロがアテネにいたのはどのくらいだったのか、書かれていません。といっても、宣教旅行自体、ほとんどの日程が記されていないので、すべて推測なのですが、それをご承知の上で解釈させていただきます。

まず、パウロは「アテネで二人(シラスとテモテ)を待っている間に」(17:16)とあります。特に「間に」という言い方は、アテネが落ち合う場所、または通過点であり、二人が来るまで時間があつたので、何もしていないよりも、外に出て、証しをしよう、というような表現と受け取れます。

私がイスラエルを旅行した時、直行便がありませんので、オランダのアムステルダムで乗り継ぎました。とはいえ、電車の乗り換えのように行かず、7時間ほど待たなければなりません。トランジットと言います。ほとんどの場合、空港内で過ごすのですが、空港の外に出ることが可能な場合もあります。この時は、それができたため、大急ぎでしたが、アムステルダムの市内観光ができました。運河や花の市場、そして外からでしたが、アネの家も見えました。本来の目的地ではないものの、立ち寄ることができ、とても得な体験でした。

パウロの場合、アテネで二人を待つという、トランジットがあり、時間が限定された中で、活動をしていたと思われます。

ただ、5節を見ると、二人はアテネではなく、「マケドニア州から」コリントに直接やってきています。そうすると、落ち合う場所はアテネではなく、コリントであったことが有力になってきます。

そうなると、向かう場所は最初からコリントであって、アテネは素通りするくらいの気持ちだったことになります。だとすると、パウロはコリントで落ち合わなければならないわけですから、アテネからの移動時間も考え、アテネの滞在はもっと短かっただけでしょう。長くても1カ月、おそらくは一週間程度だったとみてよいと思います。

それにしても、寸分の時間も無駄にせず、パウロは証しし、成果も残しているのですから、大したものだと思います。

## 【コリント】

前項で記したように、パウロがアテネではなくコリントを目指していたのはなぜでしょうか。それは、コリントの方が人の行き来が多く、繁栄していたからに他なりません。

アテネは学問、特に哲学の中心地であったことは間違いありません。しかし、BC338、マケドニアとの戦争に負け、その後、復興する途上でローマの支配に落ちたことで経済は滞り、政治的な影響力も低下していました。ところが、コリントは、一旦はローマに破壊されたものの、BC44にカエサルによって再建され、ギリシア地域の中心都市となっていたのです。特に、地中海に通じる北の港、東洋に通じていく南の港の二つの港を持ち、その南北が5kmほどしか離れていないことで、東西から交易品が町の中を行き来し、大いににぎわっていました。まさに要所として機能していたことで、多くのローマ人が移住し、商業や文化が発展するのです。パウロがコリントに長期間(一年六カ月・18:11)滞在していることからしても、アテネよりも重要視していたことが分かります。



## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#3/4)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#3/5～#4/12)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/20～#6/7)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#6/8～#11/29)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/30～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/11・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)  
父の日(6/15・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/23・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)  
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/23～29)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)  
最後の晩餐集会(#4月17日夕)  
召天者合同記念礼拝(#6/1・6月第二\*今年は第一)  
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

## 教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか  
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲  
げています。

わたし  
私たちはイエス・キリストを救い主として信じ  
ています。

しゅ かみ くに ちか く あらた 改  
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い  
めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、  
ひとびと おし とお かみくに めぐみ  
人々にその教えとみわざを通して神の国の恵み  
を明らかにされ、そののち、わたしの罪を負って、  
じゅうじか な と  
十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の  
くに すく みち ひら  
国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の  
くにぞく いもの わたし せいしょ  
国に属して生きる者となった私たちは、聖書が  
しゅうまつしめ じだい しめい まつと  
終末と示しているこの時代に、使命を全うすべ  
く、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と  
しんこうこくはく もの とも かみ くに かぎ あた  
信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与  
えられた教会の一員とされたことを覚えながら、  
せいらい たす いか せんじょう あゆ  
聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩  
みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活をもたらず祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

